

祝 成人式

8月15日、活性化センターにて第67回七ヶ宿町成人を祝う会が開催されました。平成7年度生まれの新成人11名が出席しました。

第1部では、新成人代表の辰口創也さんによる「大学に進学し、町を離れてみて良さに気づいた。町に貢献したい」という力強い誓いの言葉に、大きな拍手が贈られました。

第2部は新成人自ら司会を務め、和やかな雰囲気の中で行われました。(株)ゆのはら農産の山田岳彦さんを講師として迎え、昨年度の商工会青年部主張発表全国大会で優勝したスピーチを聞きました。自分の出来ることを一生懸命やり、町の未来を担っていこうという熱い想いを、新成人も真剣な眼差しで聞き入っていました。「私の二十歳宣言」では、これまでの自分を振り返るとともに、これからの目標や意気込みを一人ずつ語りました。大人になることへの戸惑いも感じつつ、しっかりと自分の未来を見据えているようでした。

中学校時代の恩師からの応援メッセージでは、中学校卒業式当日に発生した東日本大震災を乗り越え、今日この日を迎えられたことが語られ、喜びを噛みしめました。中学校時代に書いた、二十歳の自分へ宛てた手紙を恩師から手渡されると、嬉しいサプライズに笑顔になっていました。

また、家族からのビデオレターを見て、改めて家族の愛情に包まれ、涙を流す人もいました。成人式実行委員会による、七ヶ宿町ならではの温かい成人式となりました。

* * 新成人のみなさん * *

(男性6名 女性6名)

No	成人者氏名	地区名
1	小川 良太郎	横川
2	海藤 翼	関
3	辰口 創野	長老
4	野村 佑人	関
5	吉田 新	関
6	岡 美由紀	関
7	日下 広美	横川
8	高橋 唯	関
9	永野川 美雪	峠田
10	花沢 昭乃	関
11	東根 慎介	峠田
12	和合 唯花	関



わらじで歩こう七ヶ宿の軌跡を辿る

— 30回目の節目 —

おかげさまで、昭和61年に始まった「わらじで歩こう七ヶ宿」は30回目を無事に終えることができました。今年3月には、(財)地域活性化センター主催第19回ふるさとイベント大賞コンテストで「ふるさとキラリ賞」を受賞し、改めてこれまで町全体が一丸となり開催し続けてきた功績が評価されました。町民のみなさんのご協力があったからこそ、全国に誇れるイベントに成長することができました。第30回の節目を迎えられたことを記念して、歴史を振り返ります。



第1回(昭和61年8月24日)～わらじで歩こう七ヶ宿誕生～

知名度アップと特産物のPR、健康の増進を図ることを目的として始めました。当初は、関宿を出発しスキー場に向かう10.6kmの道のりを歩くイベントでした。募集人数200名でしたが、予想をはるかに上回る441名の参加があり大盛況となりました。



第3回～火まつりの復活～

山伏がホラ貝を吹いて関の地区内を歩いたり、内川橋で護摩焚きを行いました。距離がちょっぴり伸びて11kmになりました。



第1回から第8回まで～当時の藩の再現～

安藤家本陣では、往時の時代を再現して参加者を楽しませていました。記念撮影される方が大勢いました。



第5回～大わらじの寄贈、滑津旧街道に水車再現～

滑津宿親子松のそばに、町内在住の高橋良夫さんから大わらじと奉納所の寄贈を受けました。また、滑津旧街道に橋と水車を作り、昔を再現しました。



その他

- 第9回 コース逆転!スキー場を出発する現在のスタイルに
- 第18回 参加者が過去最多の714名を記録。
- 第20回 道中には馬車が。疲れた旅人を運んでくれました。



第30回～オリジナル手ぬぐい配布～

源流ポッチョンの柄が入ったオリジナル手ぬぐいを配布しました。また、最後までわらじで歩いた人にはプレゼントを用意し、例年よりもわらじを履いて歩く人が多くなりました。

